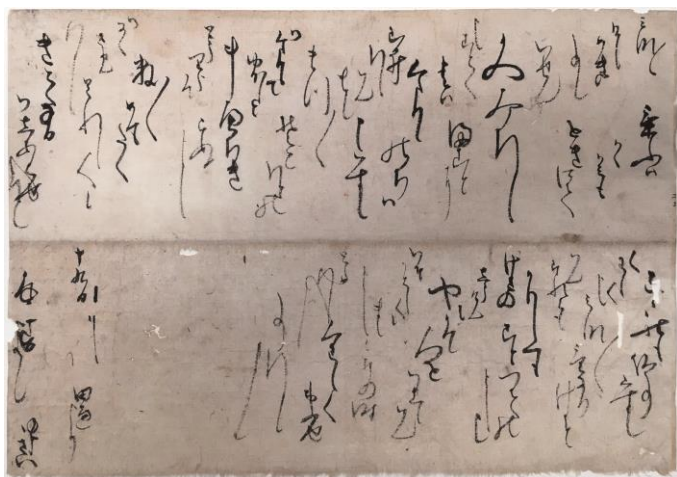


# ふるさとミュージアム コレクション



細川幽齋書状

## 「寄附購入史料」 一挙公開！

平成31年1月26日(土)～3月31日(日)

【休館日】

月曜日

※2月11日は開館し、12日休館

【開館時間】

9:00～16:30

【入館料】

大人200円 小中学生50円

団体割引あり

\*友の会会員、65歳以上の方、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者は無料

\*「きょうと子育て応援パスポート」ご利用可能

\*小中学校等の学校教育活動の場合は申請により無料

近年収集した民俗資料も展示！

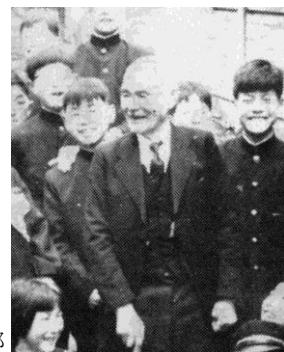
「知られざる郷土の瓦師 堂本<sup>き</sup>譏太郎」

堂本譏太郎(1877-1968)は、製瓦業界において伝説的に語られる京瓦職人。舞鶴市今田に生まれ、京都の窯元西村彦右衛門に入り、京瓦業界の発展に尽力した。

今回は近年収集した譏太郎の作品を紹介し、郷土に対する彼の思いに迫る。



鍾馗像



堂本譏太郎

(『池内校百年のあゆみ』から転載)

ふるさとミュージアム丹後



海の京都

# ～主な展示品～

## 日置小次郎宛足利義詮感状

120年振りに再発見！里帰り！！

後に室町幕府二代将軍となる義詮の花押が据えられた感状。宮津市日置を本拠地とした在地領主、日置小次郎の戦功を褒めたもの。室町時代初期の極めて貴重な資料。

## 細川幽斎自筆書状

幽斎が舞鶴から出した自筆の手紙

丹後を領した細川幽斎（長岡藤孝）が、田辺城（西舞鶴）から出した書状。平仮名が多用されており、気心の知れた人物か、女性に宛てて出したものと考えられる。

## 丹後宮津城中所々破損修覆銀高大積之目録

幕府直営工事の見積書

江戸時代前期に幕府が行った修復工事のために作った目録で、破損箇所ごとに修理の内容と見積額が書きあげられている。城郭の修復の経緯を記した貴重な資料。

## 貝原益軒著『己巳記遊（きしきゆう）』

天橋立を日本の三景と呼んだ最初の本

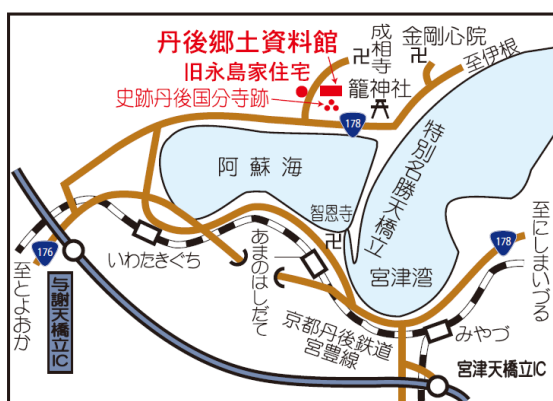
江戸時代の儒学者、貝原益軒（かいばらえきけん）の旅行記の出版前の稿本。田辺（舞鶴）から由良、宮津城下、丹後府中などを紀行した際の様子が記される。

## 新宮凉庭関係資料

由良出身の名医の著作や書

新宮凉庭（しんぐうりょうてい）は、丹後由良（宮津市）生まれの医者。長崎などで学んだ後、京都に「順正書院」という医学校を作り、多くの医者を育てた。

当館には府民の皆様をはじめとする方々から、毎年多くの歴史資料や民俗資料を寄附・寄託していただいています。特に昨年度は、京都府に寄せられた寄附金によって、丹後にゆかりのある貴重な資料を購入することができました。この一部は、今年度開催した「寄附購入史料展」などで公開したところですが、今回の展示では、この寄附金によって購入した全資料を展示し、あわせて近年収集した民俗資料を展示します。



## 京都府立丹後郷土資料館

〒629-2234 京都府宮津市字国分小字天王山 611-1

TEL 0772-27-0230 FAX 0772-27-0020

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>

交通 京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩滝口駅」から  
丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車すぐ  
「与謝天橋立IC」から車で10分

